

# マンパワー



登録拠点を増やして人手不足に対応する(面談の様子)

# 人材登録、首都圏で強化

人材派遣大手のマンパワー・ジャパン(横浜市、尾野博社長)は、登録者の獲得増加に向けて首都圏での登録拠点開設を加速する。二〇〇七年中に十以上の拠点を開設する。主に都心と

郊外の鉄道のターミナル駅に拠点を置き、登録者が来訪しやすい環境を整える。登録者集めをテコ入れして人手不足に対応する。

## 10以上の拠点 来年中に開設

登録拠点は、派遣社員として登録を希望する人が、面談やスキルテストを受ける場所だ。〇七年

二月をメドに東京都立川市とさいたま市に登録拠点を増やすほか、東京・池袋を拡張する。今年も三

月に新宿で、九月には横浜で既存の登録拠点を改装して登録時の面談などに使うブース数を一・五

倍に増やした。同社は、企業からの求人が増えるに合わせ、登録業務を強化し、派遣社員の需要増に応じるには首都圏の拠点を増やす必要があると判断した。

さらに、従来は一緒に登録受け付け機能と営業の別組織化を進める。各拠点の人員は営業と面談などの登録業務を兼務していたが、登録見込みが増えることを前提に専任担当者を置く。面談などに充てる時間を

より長く取れるようにして、登録者の増加に努める。人材派遣業界では企業の求人案件に対して、総じて派遣する社員が不足する状況が続いている。派遣各社は首都圏や関西圏で郊外型の拠点を増やすなどして、登録者増に

つなげようとする取り組みを進めている。リクルートスタッフィング(東京・千代田)では今年千葉県柏市や川崎市などを開設したほか、テンプスタッフも板橋区や武蔵野市などに拠点を増やした。マンパワーも首都圏に絞って競争に対抗する。